

令和6年度 第2回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和6年7月17日（水）午後6時より

《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」

《出席者》 委 員：地域代表、家族会代表、有識者…計3名

市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…2名

運 営 側：理事長、光風荘施設長、介護職員…計3名

《議 題》

1. 報告事項

- (1) 入居者、職員の異動について
- (2) 前回会議以降の活動状況について
- (3) 令和5年度事業報告と決算報告について
- (4) 令和6年度事業計画と予算について

2. 行政等からの情報提供

3. その他

■挨拶

「運営」：本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。新型コロナウイルスが再び流行しており、感染症に注意しながら運営に当たっております。第2回光風荘運営推進会議となります。忌憚のないご意見をいただければと思います。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

(1) 入居者、職員の異動について

○入居者

- ・入居者の異動はなし。ただし、2階入居者が転倒して、患部に強い痛みが出たため、約1週間入院した。
- ・申込者数は11名、内判定会議通過済みの方は3名。

○職員

- ・6月30日 2階女性非常勤介護職員 退職
- ・ ” 1階女性非常勤調理補助職員 退職
- ・ ” 1階男性非常勤介護職員 退職（当初から2カ月契約であった為）

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
6月15日	1階 父の日	職員3名 入居者全員	行事担当職員の出勤日の都合により、本来より1日早く開催。昼食に男性入居者の好きなお寿司を用意。また、職員が男性入居者の人生遍歴を紹介する催しを行った。
6月16日	2階 父の日	職員2名 入居者全員	昼食に男性入居者の好きな焼きそばを、おやつにはフルーツ寒天を用意。また、すごろくゲームや男性入居者の得意なカラオケなどを行った。
6月20日	2階 母の日	職員3名 入居者全員	新型コロナ陽性者発生により延期していたもの。昼食にお寿司を、みつ豆のおやつと共にカーネーションをプレゼントした。
6月27日	感染症研修	職員 1階3名 2階2名	協力医療機関監修で、「標準予防策」に関するDVDを視聴。蛍光剤入りの保湿剤を塗った上で手洗いをし、機材を用いて洗い流しているかを可視化。後日、他職員に向けても同様の研修を実施。
6月28日	華道	希望する入居者	
7月7日	1階 七夕	職員3名 入居者全員	事前に近所の方から笹をいただき、同じく事前に用意した短冊や飾りを、当時飾りつけした。おやつに冷やし中華を、おやつにあんみつを用意した。

※2階の七夕行事については、インフルエンザ・マイコプラズマ肺炎発症者が確認された為、延期。

○武蔵野市認知症グループホームの会について

市内のGH3事業所が市役所に集まり、連絡会を初めて開催。(本来5月21日開催の予定が、光風荘内での新型コロナ感染拡大を受け6月10日に変更)

初顔合わせという事もあり、各事業所の近況報告から始まり、職員採用状況、入居者・入退居の状況などについて意見交換を行った。職員採用については、「武蔵野市内在住の方からの応募が極端に少ない」、入退居の状況については、武蔵野市の利用者側の“可能な限り長く在宅で”という意向が強いイメージがある、等、地域性についても共有を行った。

今年度は概ね4ヶ月に1度、GHの会を実施する方向となり、次回以降の開催場所はそれぞれのGHとし、各事業所の状況を直接見学しながら意見交換等を行う事となった。

【質疑応答・意見交換】

「委員」：6月末に3名の職員が退職した。3月の運営推進会議にも2名の職員の退職の報告があった。職員体制が不足していると思われる。

「運営」：6月に退職した職員のうち、1名は調理補助の方である。仕事内容は、朝食作りと掃除のため、直接介護にあたる職員ではない。また、女性非常勤介護職員については週2日の勤務で、男性非常勤介護職員は週1日の勤務であった。今回、入職した派遣職員は、月10回の夜勤をしている。そのため、何とか、シフトを埋めることができる状態である。7月は、有給消化の職員がいるが、8月になると復帰するため、シフトに余裕が出ると思われる。

「委員」：今は時期的に夏休みの時期である。きちんと職員に休みを付与しないと厳しい評価を受ける時代になっている。先程、武蔵野市民で介護職勤務を希望する方が少ないと聞いたが、なぜ少ないのであろうか。

「運営」：介護職として応募する方の中で、武蔵野市民が少ないという意味である。

「委員」：応募は、どういう形で出しているのか。

「運営」：光風荘としては、ハローワークや求人サイトを活用している。求人サイトについては、法人で管理していたが、6月から光風荘側で管理できるようにした。光風荘で求人の掲載と応募状況を分かるようになった。応募があると実際に電話をかけたり、メールを送って接触を試みたが反応がない状態である。

「委員」：施設長は福祉公社で講師をしていたが、そのことは現場に負担になっていないか。また、入居者が転倒した際に患部の痛みが強く、夜間そばについていたと聞く。今後は、現場の負担を軽減するためにも、ボランティアの受け入れが必要ではないだろうか。もし、人が足りないのであれば、私もヘルパー2級を取得している。資格は持っていても、勤務していない人がたくさんいるのではないか。そうしたスキマ時間を使って働きたい方がいるのではないか。学校等でも様々なネットワークがある事を知っている。そういった地域住民をつなぐネットワークは活用できると思う。

「運営」：ボランティアに何を願うのかという問題がある。以前は、直接介護よりも歌や生け花というレクリエーションで受け入れていた。光風荘では、新型コロナウイルスが流行する以前から、武蔵野市のシニア支えあいポイントの登録事業所をしている。当面は、感染予防のため中断していたが、今年度から、ボランティアの本格受け入れを検討したい。

「委員」：今、貴重で具体的な提案をいただいたと思う。ボランティアやスキマ時間は飲食業界では当たり前になっている。独自の採用やボランティア受け入れの仕組みを作ったらどうだろうか。

「委員」：現在、職員が3名足りないということでは寄せが大きいのではないか。

「運営」：以前話したようにスキマ時間を活用した登録制の短時間バイトアプリの本格始動の準備を進めていたが、結局感染症が広がってしまった。そうしたアプリの登録者は、他の現場で勤務されている方も多い。感染拡大時に、そうした方に勤務していただくのは厳しいと思われる。

「委員」：もし、新型コロナウイルスが流行して職員に感染が広がった場合、少ない職員で運営することは難しい。そういう時に現場を把握している職員が一人いれば臨時で来てくれる方がいても運営ができるのではないか。

「委員」：地域とのつながり方は、イベントの参加などの形が多かったが、日々の生活を地域とのつながりの中で支えてもらうというボランティアという形が良いのではないか。光風荘だからボ

ランティアをしたい言う地域の方と繋がれば先は見えてくると思われる。

「委員」：光風荘の募集に対して応募される方が少ないと思われるが、法人全体での対策はあるのか。

「運営」：今回の提案は有難いと思う。グループホームは、地域密着型サービスであり、地域全体で支えていただきたい。コロナが流行した時は、そうした地域とのつながりができなかったが、今後は地域と一体となった運営が必要ではないか。現在、スキマ時間を使った働き方はあるが、ボランティア的な活動についても法人全体で受け入れ態勢づくりをしていきたい。

「運営」：スキマ時間を活用した働き方については、短時間バイトアプリを感染症が流行している時にも活用して良いものかどうか、運営会社の規定等を確認していきたい。

「委員」：職員が長く働き続けるためにも、自分の時間が取れることが好循環につながる。職員が無理をしているからこそ維持できる状態を変えてほしい。

「運営」：ボランティアに身体介護をお願いしてよいのか等の運営基準があるか、再確認しなければならない。職員しかできないことがあるのではないか。

「委員」：ないと思う。資格を有しているかが大きいのではないか。私は、20年前にヘルパー2級を取得した。地域住民の中に資格を有している人は多いと思う。

「委員」：ボランティアにお願いする範囲については、内容だと思う。ボランティアは、原則お金が発生しない。資格や事故発生時の保険がある。細部まで詰めれば、幅広くお願いすることは可能ではないか。

「委員」：職員不足について市役所の対応はあるのか。

「市職員等」：新規採用者で正規雇用と非正規雇用や資格の有無などで条件があるが、6ヶ月以上勤務すると5万円から15万円の支援金を用意している。4月だと大量採用時期なので、申請が出ている。複数の施設を検討するなら、武蔵野市ならお金がもらえるという事で市内の事業所を選択していただく機会になっていると思う。また、介護支援専門員等の資格の更新に必要な費用についても補助している。

「委員」：これらの入職時の助成は、どれくらい申請が来ているのか。

「市職員等」：去年は700万円の予算を準備した。今年は、800万円に予算を増額した。反響はあると思う。資格更新の助成については、今年度の事業のため、問い合わせが来ている状況である。助成を受けた職員がすぐに辞めたという話は聞いていない。

(3) 令和5年度事業報告と決算報告について

○事業報告について

基本的な方針・理念は変わらずだが、新型コロナが5類感染症に移行した直後に、光風荘内で感染拡大が起こってしまい、その影響により昨年度も感染対策の為の慎重姿勢な施設運営となっていた。

また、運営推進会議でもご意見・ご提案をいただいた利用料の改定について、協議を重ねて令和6年度より改定が決まった。

入居者の年齢については、全体平均89.8歳、最高年齢が女性の102歳、2番目は女性100歳という事。年齢区分で見ても半数以上が90歳を超えているという事で、高齢者施設内での高齢化が進んでいると感じる。

平均入居期間については、令和3年度前後に入退居が続いた事もあり、全体で3年程となっている。

入退居者数については、今年度は退居者数が3名、かつ空室ができてから次の入居までも比較的スムーズであった。

要介護度については令和6年3月時点での全体平均が2.7、令和5年4月は2.4であり、ジワジワと上がり始めている。

○決算について

ほぼ予算通りの決算であった。

令和5年度の決算、前年度の決算との比較においては、収益・収入については前年度比で1千万円増、費用・支出については約300万円増と、稼働率が非常に悪かった令和4年度と比較すると歴然の差となっている。特に人件費については派遣職員の数減った事で費用を抑えられたものと思われる。

(4) 令和6年度事業計画と予算について

○計画について

基本的な部分・根幹の部分については昨年と大きな違いはないが、感染症対策と生活全般の制限のバランスの見直しが必要、と考えている矢先に、今年度も5月に新型コロナ感染拡大が起きてしまい、どう見直すべきが苦慮している部分もある。常に近隣・あるいは都内の流行状況に注視しながら、見直しを進めていきたいと考えている。

○予算について

収入の部については、介護報酬改定の影響を加味していなかった為、稼働率が安定していれば実際はもう少し増額と考えてよいと思われる。

支出については、既に派遣職員数が増えているため、予算額を超える可能性が出ている。直雇用の職員採用を進め、何とか支出を抑えたいと考えている。

【質疑応答・意見交換】

「運営」：令和5年度については、令和4年度までの新型コロナウイルスにより、厳しい運営であったが、改善がみられる。ただし、新型コロナウイルスにより対外的な活動ができなかったことが反省としてある。今年は、ボランティア活動を含めて対外的な活動を復活していきたい。光風荘は、稼働率が安定している。一方で、余裕ができれば職員配置について重点的に取り組みたい。

「運営」：無理は続かない。それが続くと疲弊してサービスが低下する。スキマバイトやボランティアなど有効に活用して、職員の負担を軽減していきたい。

「委員」：今を乗り切ってその先に今の厳しさが緩和できるようになってほしい。永遠に今の状態が続くのは厳しい。

「運営」：令和3年度に複数名の職員を採用した。しかし、この年に採用できた職員が前回と今回の運営推進会議で退職という形の報告になってしまった。新規の職員が継続しない事が多くなっている。コミュニケーション不足等の問題があると思われる。採用と採用後の働きかけが大事になっている。フロアに新型コロナウイルスが流行したことが退職のきっかけになっていると思われるので反省したい。

「委員」：新型コロナウイルス流行している時に、職員の負担を軽減するために家族がフォローするのはどうか。介護をするのではなく、掃除等で役に立つことができるのではないか。

「運営」：今後感染対策の考え方がどうなるかで違ってくると思われる。光風荘のフロアで新型コロナ

ウイルスが流行している時に家族が手伝うことで感染してしまうことが危惧である。

ただし、新型コロナウイルスの症状（発熱）が出た時に、ご家族に病院への付き添いをお願いして良いのか、悩む。職員体制が厳しい中で、受診の協力が得られるならば、フロア内よりも受診の付き添いで協力をいただければありがたい。

「委員」：既に感染したことがある家族なら協力を得られる可能性があるのではないか。

「委員」：日常の人材確保と、職員まで感染症にかかる非常時の人材確保は切り分けて考えた方が良くと思われる。

「運営」：新型コロナウイルス感染症が流行する前に行っていた家族会を再開したい、家族会では、日常の活動報告や利用料の改定などの意見交換を行っていた。以前は、家族会終了後にご入居者様と一緒に食事を召し上がってもらったことがある。食事会が難しくても、ご家族同士の顔合わせができるようにしていきたい。

「運営」：以前は、ご家族と一緒にイベントを見学することあった。できれば、新型コロナウイルス流行する前の活動に戻したい。

2. 行政等からの情報提供について

「市職員等」：認知症高齢者を介護しているご家族様向けにカフェを定期的で開催している。後日、市担当者から資料を送付する予定。

3. その他

- ・次回の運営推進会議は9月18日（水）18時を予定している。